耕畜連携による飼料生産技術

安全農産物生産学コース（やまがたフィールド科学センター）
浦川　修司　教授　URAKAWA, Shuji

キーワード： 耕畜連携，飼料用米，子実用トウモロコシ，資源循環
専門分野： 飼料学
連絡先Email： urakawa3513@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

わが国の畜産の現状課題

わが国の畜産は輸入飼料への依存度が高く、その経営は海外の穀物価格や為替の変動に大きく影響されます。そのため、輸入飼料への依存度を低減する取組は、足腰の強い畜産を営んでいく上で非常に重要です。

耕畜連携による飼料生産

稲作農家との連携によって、水田の機能を維持したまま、飼料自給率の向上を図ることのできるホールクロップサイレージ用イネ（WCS用イネ）や国産穀類としての飼料用米、畑作農家との連携による飼料用子実トウモロコシの収穫調製から流通技術に関する研究を行っています。また、水田や畑輪作体系における資源循環型農業を目指した研究を行っています。

WCS用イネの収穫

子実トウモロコシの収穫